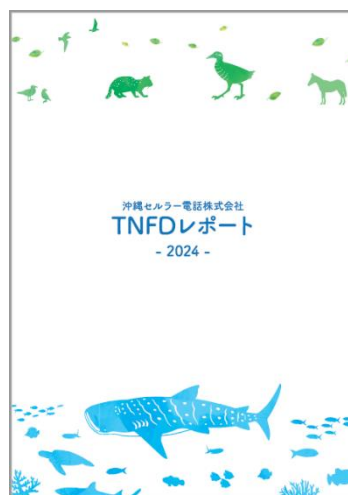


## 県内初「TNFD レポート」を発行

～事業が与える自然への影響を可視化～

沖縄セルラー電話株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：菅 隆志、以下 沖縄セルラー）は、2024年6月7日、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、以下 TNFD<sup>(\*1)</sup>）の TNFD 最終提言 v1.0 を参照し、自然資本や生物多様性に関する沖縄セルラーの考えを示す「TNFD レポート 2024」（以下 本レポート）を公開しました。なお、英語版は6月下旬の開示を予定しております。

本レポートは、株式会社シンク・ネイチャー<sup>(\*2)</sup>（本社：沖縄県那覇市、代表取締役 CEO：久保田 康裕、取締役社長：舩田 陽介）の生物多様性及び自然資本に関するビッグデータに基づき、分析・評価を実施しております。



沖縄県は多くの希少生物が生息しており、生物多様性のホットスポットとして世界的にも注目され、また、企業の成長、経済発展の根幹には自然があり、持続可能な経済活動を行ううえで自然資本が非常に重要とされています。当社は沖縄県で事業を行う企業として、沖縄の豊かな自然を後世へ残していく責務があると考えており、これまでに「おきなわ自然保護プロジェクト<sup>(\*3)</sup>」を中心に、様々な自然環境保全にと取り組んでまいりました。

今回、TNFD レポートの作成を通して、当社の事業と生物多様性を含む自然資本との関係性（依存度と影響）およびリスクと機会を整理いたしました。

沖縄セルラーは、継続的に、自然資本への影響と依存、リスクの評価を行い事業展開することで、「ネイチャー・ポジティブ<sup>(\*4)</sup>」へ貢献し、ステークホルダーの皆様とともに社会の持続的成長、企業価値の向上に取り組んでまいります。

## ■本レポートの主な掲載内容

当社では、TNFD が推奨する LEAP アプローチ<sup>(\*5)</sup>に基づき、当社グループの事業活動における自然へ依存と影響、リスクと機会を分析し、「ガバナンス」「戦略」「リスクと影響の管理」「指標と目標」のフレームワークに沿って取り組み状況や評価結果などを整理いたしました。

本レポートでは、当社グループの主軸事業である「通信事業」を主な対象としております。自然・生物多様性は地域・場所によって大きく特性が異なるため、ロケーション情報に基づく評価を行うことが極めて重要となっております。今回、具体的な操業ロケーションを把握できている①基地局、②販売店（au Style/au ショップなどの営業所）、③海底ケーブルについて、操業エリアの生物多様性の重要性や完全性を評価・把握し、自然資本の観点から重要なエリアを特定いたしました。

### (※1) [自然関連財務情報開示タスクフォース \(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures: TNFD\)](#)

自然関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures, または TNFD) とは、2021 年に発足した自然関連の依存・インパクト、リスクと機会を適切に評価し、開示することを要請する国際的なタスクフォース。気候変動における TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース(Taskforce on Climate-related Financial Disclosures))と連動したフレームワークを提示している。

### (※2) [株式会社シンク・ネイチャー](#)

生物多様性科学分野において卓越した研究業績を有する研究者で構成されている「琉球大学発グリーンテック・スタートアップ」。自然資本ビッグデータを活用した自然の持続的利用に関する分析、評価、ソリューションのコンサルティングや支援を行う。 <https://think-nature.jp/>

### (※3) [おきなわ自然保護プロジェクト](#)

沖縄の自然を守り、未来に繋げていくことを目的とし、2021 年に沖縄セルラーの社会貢献活動として始動したプロジェクト。

(※4) 「ネイチャー・ポジティブ」とは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくこと。

(※5) 「LEAP アプローチ」は、自然関連のリスクと機会を体系的に評価するためのプロセス。自然との接点を発見する (Locate)、依存関係と影響を診断する (Evaluate)、リスクと機会を評価する (Assess)、自然関連リスクと機会に対応する準備を行い投資家に報告する (Prepare) の 4 フェーズから構成。

## 参考)

### ■ 沖縄セルラーの生物多様性に関する主な取り組み

- ・ [おきなわ自然保護プロジェクト開始\(2021年10月12日発表\)](#)
- ・ [おきなわ自然保護プロジェクト第2弾、マングース画像判別システムの構築\(2022年3月30日発表\)](#)
- ・ TNFD フォーラムへ加入
- ・ [ネイチャー・ポジティブおきなわ推進に向けた連携協定締結\(2023年7月25日発表\)](#)
- ・ 30by30 (サーティ・バイ・サーティ) アライアンス加盟
- ・ [AIによる生物情報可視化アプリ「Biome」とStarlinkを活用し外来種調査を実施\(2023年9月7日発表\)](#)
- ・ 新聞広告「わたしたちが、絶滅危惧種になる前に。」コピーとともに、琉球新報・沖縄タイムス3社共同で生物多様性の保全や環境保護の重要性を訴求。

### ■ TNFD 設立の経緯

昨今、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) に続く、自然に関する依存関係、影響、リスクおよび機会に関する企業のリスク管理と開示枠組みを構築するために設立された国際的組織 TNFD の動きが加速しています。

TNFD は、自然関連のリスクと機会を管理し、情報開示するための枠組みを開発・提供する国際イニシアティブで、英国の非政府組織 (NGO) である Global Canopy、国連開発計画 (UNDP)、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)、および世界自然保護基準 (WWF) により 2020 年 9 月に立ち上げられました。企業や金融機関に自然に関連した情報開示を促し、世界の資金の流れを自然環境にとって負の影響を与える結果から良い影響をもたらす方向に移行させることを目指しています。

以上

本件に関するお問い合わせ

沖縄セルラー電話株式会社 サステナビリティ経営推進部 島袋 TEL : 098-951-0639